



企業における共有のルール

令和7年12月16日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

それは社員の合意であり、企業の現実なのである。

これらが高い意識と倫理性は、企業における優れた選択であることの証明である。

これらは企業の運営と経営は、経営者がこれら理解を求め、健全な企業環境の実現を得ることで、その可能性という未来を実現できるのである。

これらはルールと合意は、永続的な現実を生むものである。それらは企業システムとして、企業の永続性の構築を求めることができるものなのである。

これらは経済における新たな潮流である、男女平等や労働条件、サーキュラーエコノミーやゼロエミッションという基準など、CSRにおける社会との共生など、企業運営システムとサイクルの完成は、その永続性を実現できるのである。

これらは時代性への参加における企業の飛躍であり、創造性という企業の現実を許容するとき、優れた現実を求めることができるはずである。

これらサイクルとシステム、合意とルールは、それら固定した現実の永続的な創造を与えるため、その考査を最大限求め、優れた基準におけるこれら現実を有することが、企業の現実をそれと対比して実現できるのである。

これらが優れた企業風土は現実を与えることにおいて理解できるものである。

これら正しい意欲と健全な企業環境の実現は、競争原理という市場ルールにおいて企業英英の強さにおいて社員はその安心を得、それらが健全な意欲と現実を可能とできるのである。

これらは経営者の資質が企業を決定することにおいても理解できるものである。